

(第三種郵便物承認)

東

「わっしょい」のナレーションに合わせ観衆の手拍子が響き、豪快な火柱が夜空を照らした。
（文 正田哲雄 写真 宮崎浩治）

自販機の仕組み理解

カ ル ピ ス ム 学習会に親子80人



館林 アサヒ飲料関東本部（さいたま市）は29日、館林市大新田町の群馬工場「カルピス」みらいのミュージアムで、自動販売機の学習会を開いた。小学生や保護者80人が、身近な自販機の仕組みに理解を深めた。写真。飲料自販機の国内設置数は本県の人口より多いことや、最も大きいもので800本近くを収納できることをクイズ形式で紹介。自販機内部を公開すると、購入した商品が降りてくる様子に子どもたちが見入った。大泉町から家族と訪れた近藤莉子さん（ぐんま国際アカデミー2年）は「中で冷たいのと温かいのをちゃんと分けられるのはい」と話した。夏休みの自由研究に役立ててもらおうと、午前と午後の2部制で催した。（正田哲雄）

太田

夏休みの特別企画「おばけめいろとおばけやしき」が29日、太田市のぐんまこどもの国で始まった。飛び出すお化けや不気味な音に悲鳴が上がる。8月27日まで。

お化け屋敷は誰もいないはずの場所を巡る設定で、参加者は暗闇を5分ほど進む。苦手な子どもも遊べる段ボール製の迷路（全長15メートルほど）では、さびしがりやの「すみっこおばけ」を探せる。

前橋荒牧小3年の青木悠馬君はお化け屋敷に入り「たくさんびっくりした。涼くなった」と笑顔。伊勢崎あすか幼稚園の荻野豪心ちゃん(4)は、迷路でお化けを見つけて「面白かつ

お楽

館林

館林市の伝統的な綿織物、館林紬の再興を目指して地元有志が設立した合同会社「細・組」の発表会が29日、同市仲町の館林パブリックハウスで始まった。写真。事業展開の説明や反物を使った製品の展示販売があり、市民でにぎわっている。

「館林紬知って」 展示販売でPR

新会社「細・組」発表会

30日まで。
代表社員の安楽岡紀子さん(46)、飯塚はる香さん(33)、中村喬さん(57)が会社設立の経緯を伝え「まず特徴的な柄を生かした商品を他業種と組んで展開し、認知度を広げたい」と述べた。
館林紬は現在生産されておらず、1社だけ残る織元の在庫で製



品を作っている。魅力を新しい形で提供しようと、安楽岡さんたちが昨年からの法人化の準備を進め、7月6日に設立した。反物の生産を市外の業者に委託し、将来的に市内での生産復活を目指す。
30日の開催は午前11時～午後6時。（正田哲雄）

みどり

「ギックグスク、みどり」の親子20組が、はん、デザー、写真。同大医療保健科が初めて企業が指導した。今がちな夏休みから栄養バランス人で作れるレシピを教えた。子どもたちは肉巻きやイワシをはじめ4品を切ったり、盛り付けたりした。伊勢崎あすか幼稚園の荻野豪心ちゃん(4)は、迷路でお化けを見つけて「面白かつ」
桐生天沼小

